

# ESD通信 No. 27

平成30年9月12日発行

— ふるさとを愛し未来を拓く子の育成をめざして —

新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課  
☎ (0897) 65-1301

ESD 主任研修会 (7月6日) 新居浜市市民文化センター

1学期～夏休みの取組のご紹介

市内小・中学校のESD主任の先生方や新居浜市PTA連合会の役員の方々が集い、SDGsに対する知識の習得と各学校におけるESD推進のために研修会を行いました。講師として、徳島県阿南市より2030SDGsカードゲーム公認ファシリテーターとして全国各地でご活躍の渡邊芳彦さんをお招きしました。このカードゲームは大変よくできており、めまぐるしく変化する社会情勢に応じて、自分たちの行動を見定めながらミッションをクリアしていくというものでした。

SDGs (17の開発目標) はより身近なものであることを体感することができました。



【SDGsは身近な所から。】

【ミッションをクリアします。】

【交渉も大切です。】

以下、参加された方々からの感想です。

- 共通の目標をもつことの大切さを感じた。そういう意味でSDGsは共通の目標であり、あらゆる場面で大切にしていかななくてはならないものである。
- やはり、自分のことだけではなく、周りのことも考えて生活していくことが大切だとわかった。
- コミュニケーション能力の向上が一番大切だと感じた。子どもも大人も。
- こんなゲームでは理解できないのではないかと半信半疑であったが、とても分かりやすく、感想のシェアで、さらに深まり、とても勉強になった。ぜひ、取り入れたい。
- 自分たちの行動一つ一つが回りまわって、世界を作っているのだと再認識できた。自分の行動を決める際には、立ち止まり、本当に大切なゴールは何のかを考えていきたい。

この研修を通じて、改めて『ESDって何だろう?』『SDGsって何だろう?』と考えたときにすごくしっくりきた表現があります。いかがでしょうか?しっくりきますか?

① E : 永遠に続く平和な

② S : 社会 (世界) を

③ D : 大事な子どもたちに  
残すための教育



④ S : 世界で目指す

⑤ D : 大事な

⑥ G : ゴールなんで

⑦ s : す!



## E S Dの視点を生かした社会科授業研究（7月15日）新居浜公民館



東京都練馬区立大泉西中学校の主幹教諭池下誠先生をお招きして、E S Dの視点を生かした社会科授業についての研究を行いました。新居浜市内の社会科の先生方を中心に研修が進められました。まず、新居浜市立別子中学校の池田光希先生が、『歴史的分野「日本の産業革命～別子銅山と足尾銅山～」の実践を通して』と題した研究発表を行いました。その後、池下先生よりご助言をいただきました。二つの銅山の歩みをSDGsを元に設定した5つの視点から比較し、レーダーチャートで視覚化している点など、高い評価を得ました。このような研修は各校で行われています。

## 第1回E S Dワーキンググループ会議（8月2日）市庁舎

鳴門教育大学大学院特命教授の近森憲助先生、えひめグローバルネットワーク代表の竹内よし子さんを講師としてお迎えし、ワーキンググループのメンバーとともにE S D推進に向けた取組についての協議を行いました。

E S Dの視点に立った教育活動の推進は、未来を拓くたくましい子どもたちの育成に必要なものであることを再認識することができました。ワーキンググループで協議したことをしっかりと子どもたちのために繋げていきます。



## 平和の鐘を鳴らそう！（8月11日）イオンモール新居浜

世界平和への願いを地域から発信する新居浜ユネスコ協会主催の行事「平和の鐘を鳴らそう」がイオンモール新居浜で行われました。人の心の中に平和のとりでを築くというユネスコ憲章の精神の下、参加したみんなが、平和について深く考えたひとときでした。

イベントでは、新居浜西中学校の合唱部・合唱隊の総勢38名が、すべての生命を大切にすること誓い、美しい歌声を会場全体に響かせました。また、新居浜西高等学校書道部の書道パフォーマンスでは、『Family』と書き上げ、家族への愛情を力強く表現しました。

